

議会だより



奥出雲町



令和元年度 奥出雲町成人式 1月4日



注目記事

- 三成小学校整備事業を廃止 2
- 予算をチェック! 4
- 10人が町政のここを聞く 8
- 議会活性化に向けての提言 20

可決

備事業を廃止

の建築計画策定へ

年度内に仁多地域統合小学校の建設地を絞り込み

- 候補地案
1. 安全対策を行った仁多中学校敷地。
 2. 現在の三成小学校の敷地。
 3. それ以外の敷地。

令和元年度 一般会計補正予算（第3号）

補正前予算額 ①	149億9,600万円
3号補正予算額②	△3億900万円
補正後予算額 ①+②	146億8,800万円
	※対前年度同期比98.0%
	※百万円未満端数処理のため各項目と合計は一致しない。

主な歳出の概要



三成小学校整備事業

△5億8,139万円

事業凍結に伴い事業費を皆減

○三成公園陸上競技場園路整備事業費

事業凍結に伴い事業費を減額 △1,359万円

○債務負担行為〔廃止〕

令和元年度から令和2年度分 △12億8,794万円

令和元年12月定例会は12月6日から19日まで開かれ、一般会計補正予算減額3億900万円などの予算案8件、条例案9件など26議案が上程され、慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算（第3号）で三成小学校整備事業が廃止されましたが、町長は新たに仁多地域の統合小学校の建築計画を本年度内に策定するとしています。

教育委員会は小学校再編方針を一部修正して2月に示すとしています。

三成小学校整 改めて統合小学校



奥出雲町議会議長 藤原 充博

新年明けましておめでとございませう。皆様には平素より町議会に対してご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。昨年5月1日、新天皇陛下が即位され、元号は平成から令和に変わり新時代が幕を開けました。また今年には、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを期待したいものであります。

新年のご挨拶

人口減少、少子高齢化、小学校の問題、地域活性化、医療・福祉など様々な課題がありますが、議会と住民の皆様、町執行部とともに奥出雲町の将来のために、「ワンチーム」となって知恵を絞り創意工夫をし、豊かで住みよいまちづくりに努めて参りたいと存じます。本年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう祈念し、年頭のご挨拶いたします。



ふるさと応援寄付金事業費

2億4,315万円

前年同期比160% 今年度5億円を見込む

小学校教師用指導書・教科書購入費

1,414万円

学習指導要領改訂に伴う指導書等購入費

町民の森用地取得費

△1,900万円

個人が所有する山林約6ヘクタールの取得取りやめ

県人事委員会勧告に伴う職員の給与改定

373万円

勧告に伴う月例給与と賞与の引上げ



予算をチェック！質疑

上程された各会計補正予算を、予算特別委員会と総務経済、教育福祉の各常任委員会にて3日間にわたり詳細に審議しました。その中から質疑の一部をお知らせします。

令和元年度 一般会計補正予算（第3号）

歳入

《ふるさと応援寄付金》

1億5,000万円

大垣照子委員 ふるさと応援寄付金はいつまでの時点で何件寄せられているのか。

企画財政課長 現在、昨年度と比べ1.6倍のペースで寄付をいただいている。今年度末には約5億円を推計している。のべ人数は11月末で昨年度の倍の12,000人。同じ方が何度もご寄付いただいているケースもある。昨年度末は11,000人だったが、今年度末には約22,000人を超えると推測している。

内田 勇委員 寄付金見込み金額が倍増した大きな要因は何か。

企画財政課長 第一の要因は日本農業遺産登録により、奥出雲町の全国的なPRができてきていることだ。また返礼品見直しにより、総務省の認定を受けられなかった自治体の分が全国に分散されたことも要因だ。

歳出

《駅舎施設修繕費》

188万円

田食道弘委員 出雲八代駅、出雲三成駅の改修内容は何か。

地域づくり推進課長 三成駅特産市の空調設備修理が大半で、同じく自動ドア修理、八代駅の老朽化した改札口修繕だ。

《ふるさと応援寄付関連経費》

2億4,315万円

内田雅人委員 基金積立は今回で8億8,000万円になる。住宅支援整備事業の他には、どんな事業に活用しているのか。

企画財政課長 災害対策費のハザードマップ修正、全国大会などへの出場激励金、子育て世代の住宅用地取得のための補助金などに使っている。

《住宅整備支援事業》

262万円

藤原和範委員 新設の住宅整備支援事業費の申請件数増の具体的内容は。

地域づくり推進課長 9月議会で補正したが、さらに3件の追加申し込みを受け、総数で31件の事業を本年度に実施する。

内田雅人委員 当初予算の22倍にもなっている。新築とリフォームとどちらが多いのか。どういう希望が多いのか。

地域づくり推進課長 新築11件、うち町内業者6件、増改築15件ですべて町内業者、空き家改修が5件だ。

《農地集積協力金》

554万円

内田精彦委員 農地集積は進んでいるか。耕作放棄の水田や畑自体が増えているのではないか。

農業委員会事務局長 耕作放棄地は増えている。主に山のほうの水田で、これ以上耕作できず、担い手のいない農地が増えている。農業委員会では非農地判断をして農地から落とすという作業を行っている。

《道路管理費》 646万円

大垣照子委員 道路ストック改修事業はど
ういう工事を見込んでいるか。

建設課長 特に舗装関係の修繕工事だ。今
回は上高尾上阿井線阿井地区、湯之原線三
成地区、女良木線馬木地区の3路線につい
て追加実施する。



急がれる町道の舗装修繕



4年かけて整備完了したホッケー場

予算をチエック

《ハザードマップ更新業務費》 585万円

村尾明利委員 ハザードマップは大きなも
のにすれば捨てられるようなことは無いが、
そうした配慮はしないのか。

総務課長 前回防災ハンドブックを追加で
配布し、そのファイルのポケットにハザー
ドマップを収納できるようにした。今回の
ハザードマップを、すでに配布している防
災ハンドブックに再度収納するとか、電話
器のそばに吊るすとかの一案内をしたい。

《三成公園陸上競技場園路整備事 業費》 △1,359万円

田食道弘委員 この事業中止は三成小学校
移転にかかわる関連工事の中止なのか。

建設課長 三成小学校の建設に関係するも
のだ。

《三成公園ホッケー場整備事業費》

△506万円

田食道弘委員 工事の結果により事業費が
確定し予算の中で506万円使わなくてよ
かったのか。

建設課長 11月末で事業全体を完了した。

4年間で5億4,626万円を投資した。
普通観覧席両側のバリアフリー観覧席山手
側に設置してある緑化ブロックの改修整備
を計画していたが、まだ健全度が高く工事
を中止した。

《小学校・中学校電気工作物保安 業務委託費》 261万円

内田雅人委員 国の補助により普通教室は
全てエアコンが付いたが、ランチルームや
特別教室についての今後の予定、考え方は。

教育長 中長期的なことや国の補助基準の
変更もあるので、これらを見極めながら、
引き続き取り組んでいきたい。

《小学校教育振興費》

1,413万円

川西明徳委員 学習指導要領改訂に伴い、
教師用指導書等購入費が計上されているが、
常に町の負担なのか。

教育魅力課長 10年に一度の改訂で、これ
に伴う教師用指導書等を購入するもので、
財源は一般財源対応だ。

水道・下水道料金を値上げ

条例制定など

条例の制定

全会一致
○職員給与に関する条例の一部改正
県人事委員会勧告を受け、町職員月
例給を0.11%、勤勉手当を0.0
5ヵ月引き上げるもの。

賛成多数 9:3
○特別職の職員給与等に関する条
例及び教育長の給与に関する条例
の一部改正
職員の給与改正に伴い、町長・副町長・
教育長の期末手当を0.05ヵ月引
き上げるもの。

賛成多数 10:2
○町民の森設置及び管理に関する条
例の一部改正
新たに購入した玉峰山山林54万2千
㎡を集落団地として加えるもの。

賛成多数 9:3
○水道事業給水条例の一部改正
来年度から水道基本料金を10%、使
用料金を5%値上げするもの。

賛成多数 9:3
○公共下水道条例等の一部改正
来年度から下水道料金を5%値上げ
するもの。

全会一致
○国民健康保険税条例の一部改正
これまでの仮算定を廃止し、4月
～3月までの12期から7月～3月ま
での9期に変更するもの。

発 委

全会一致
○議員報酬及び費用弁償支給条例支
給条例の一部改正
議員の給与改正に伴い、議員の期末
手当を0.05ヵ月分引き上げるもの。

全会一致
○視覚障害者への選挙公報の充実を
求める意見書(案)提出について
陳情採択により国に対し当議会から
意見書を提出するもの。

賛成多数 11:1
○主要農作物種子法の復活等を求め
る意見書(案)提出について
請願採択により国に対し当議会から
意見書を提出するもの。

賛成多数 11:1
○主要農作物の種子生産に係る県条
例制定を求める意見書(案)提出
について
請願採択により県に対し当議会から
意見書を提出するもの。

請 願

賛否同数 6:6
○布勢小学校校舎の早期改築に関す
る請願書
委員会の意見

請願書どおりの校舎改築では時間が
かかりすぎる懸念がある。他の施設
利用や仁多地区の統合小学校による
安全確保も考えられる。

賛否同数を受け、議長裁決により教育福
祉常任委員会採決に準じ不採択となる。

討 論

1) 特別職の職員給与等に関する条
例及び教育長の給与に関する条例
の一部改正

田食道弘 議員

消費増税や社会保障制度の後退、
実質賃金減少、年金の実質的減
額など町民の暮らしは一層厳し
さを増している。町民の理解は
到底得られない。

反対

大垣照子 議員

リハビリ学院の大学化辞退、三
成小の耐震改築凍結に伴う設計
費の無駄や玉峰山周辺山林購入
など無駄な出費が行われてきて
いて特別職には責任がある。町民
の感情を考えれば賛成できない。

反対

2) 町民の森設置及び管理に関する
条例の一部改正

大垣照子 議員

この山林の購入予算は高額であ
り反対してきた。個人の山林購
入を断念した際に組合分も中止
すべきだった。山林取得に疑念
を持つ町民もいる。

反対

3) 水道事業給水条例の一部改正

反対

田食道弘議員

料金値上げ回避の手立てが全くとられていない。また切実な町民生活や町の経済実態をかえりみていない。撤回し値上げ回避の検討をすべきだ。

賛成

石原武志議員

現状の料金体制や国の指導、助成の維持・近隣市町との連携などを考慮したとき料金改正はやむを得ない。10年かけ段階的に値上げなど配慮もなされている。

反対

川西明徳議員

国は水道法の改正を昨年12月に公布し、「基盤強化」の名で町にも広域化、民営化を推進できる趣旨の改正だ。条例改正は、まずは料金制度の変更を行なうものだ。町民の負担増には賛成できない。

4) 公共下水道条例等の一部改正

反対

田食道弘議員

一般会計予算を見直し、一般会計からの繰入金を中心にすべきだ。下水道事業の費用見直しなどもっと努力すべきだ。町民に負担増を強いてはならない。

5) 布勢小学校校舎の早期改築に関する請願書

賛成

石原武志議員

耐震改築の話が出て久しいが現在何の決定事案もない。住民が安全安心を求めるのは当然で代弁者たる議会は当然受け入れるべきだ。

反対

藤原和範議員

児童数が年々減少している状況で再編計画も進められている。そんな中での校舎改築は十分検討協議すべきだ。

賛成

田食道弘議員

校舎の耐震性は子供たちの生命に関わる重大で緊急な問題だ。猛暑緊急対策のエアコン設置と同様に校舎の耐震性確保は最優先すべき課題だ。

反対

大垣照子議員

この請願の趣旨は2022年度工事着工と書かれていて事実上不可能。地区父兄の心情を思うと一日も早い対策が必要。改築より耐震工事の施工により安心安全な校舎とすべきだ。

採決の結果は？

議案のうち、賛否が分かれた議案の採決結果は以下のとおりです。

件名	結果	岩田明人	大垣照子	村尾明利	内田精彦	内田勇	川西明徳	藤原和範	石原武志	内田雅人	土屋武雄	景山利則	糸原壽之	田食道弘
1) 特別職の職員の給与等に関する条例及び教育長の給与に関する条例の一部改正	可決	○	●	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	●
2) 町民の森設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	●	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
3) 水道事業給水条例の一部改正	可決	○	●	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	●
4) 公共下水道条例等の一部改正	可決	○	●	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	●
5) 布勢小学校校舎の早期改築に関する請願書	不採択	○	●	●	○	欠	○	●	○	●	●	●	○	○
6) 主要農作物種子法の復活を求める意見書(案)提出について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○
7) 主要農作物の種子生産に係る県条例の制定を求める意見書(案)提出について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○

議長（藤原充博）は採決に加わりません。賛否同数の場合は議長裁決。 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席

町政のここを聞く

質疑の一部を
要約して
お伝えします

質問時間は、一人30分以内
今回は10人が登壇しました。



川西 明德 議員

質問 病院の浮沈はすべて国が握っている

町長 診療報酬の改定を望む

質問 病院運営が困難になるのは、診療報酬などをすべて国が決めているからだ。

町長 診療報酬はマインナス傾向が続き、病院運営に大きな影響がある。地域医療の実態を反映した診療報酬の改定を望む。

質問 政府の公立・公的病院の病床削減と再編・統合を促す全国424病院名公表の見解は。

町長 公表は、趣旨や目的など十分な説明もなく、不安や混乱を招き、地方から反発が出た。将来を見据えた議論が必要だ。

質問 奥出雲病院は、町民の健康を保障し得る医療供給体制の

構築に向け、どのような病院政策を持っているか。

質問 全ての保育児童の給食費全額補助は実現したか。

町長 町独自で助成し、保護者の負担をなくした。

質問 非正規の保育士が多い。改善が必要だ。環境整備は行政の責務ではないか。

町長 雇用形態は運営する「仁多福祉会」がやっている。保育の充実のため、県補助に加え保育士確保に町独自の補助金を出している。

町長 社会や地域の変化に対応できる病院体制づくり、財政強化を図る。

質の高い幼児教育・保育の実現を

質問 放課後児童クラブ定員数は適正か。利用料の支援策は。職員の時給単価は県下最低だ。改善を求める。

町長 各施設ごとに定員を定め、希望者全員を受け入れている。利用料減免は実施している。雇用形態や処遇は委託先で判断している。

町長 各施設ごとに定員を定め、希望者全員を受け入れている。利用料減免は実施している。雇用形態や処遇は委託先で判断している。



質疑の一部を
要約して
お伝えします

介護保険制度の見直しを

質問 経済的理由で介護が受けられない人をなくさないといけない。

町長 補足給付の充実は、先般、国に適切な財源措置を講じるよう要望した。

質問 利用者負担検討は実態調査に基づく合理的な見直しが必要だ。

町長 県は国に制度の見直しを要望している。

職員の処遇改善を

質問 奮闘する職員に応えた賃金改善と必要な人員配置を。

町長 最少の経費で最大の効果を得るよう、財政状況を踏まえ定員管理をする。

町長 さまざまな要因がある。個人情報保護により踏み込んだ対応は難しい。職員が休職することは組織内、町政全体に大きな損失だ。健康障害防止対策を検討している。

質問 病気休暇・休職者の原因分析や対策は万全か。職場の安全衛生を重視すべきだ。





石原 武志 議員

質問 災害への対応策は修正すべきだ

町長 自主防災組織の育成や防災士の資格取得を促進する

質問 大災害が頻発する昨今、既存のマニュアル等では対応が心配される。改正する考えはないか。

町長 国や県の指導を得ながら自治会や関連団体とも連携し自主防災組織の育成や防災士の資格取得を促進したい。

質問 インフラ関連企業との連携訓練や机上訓練、河川や山林等での実地訓練の具体的な計画は。

町長 連携訓練は必要と考えている。初動体制の講習会や管理職、避難所担当を対象とした有思想定の災害対策本部訓練を考えている。

また総合防災訓練の実施を県に要望し、関係者や防災組織の参加による避難所の

設営・運営訓練を実施予定だ。

質問 幼・小・中学校の実施計画や実状はどうか。

小学校教育について

質問 複式学級や小規模校のメリットについて問う。

教育長 一人一人に目が届きやすくきめ細やかな指導ができる。児童も発表やリーダーを務める機会が多い。学年を超えた学習活動が組みやすい。

質問 地域活性化と学校教育のかかわりをどう考えるか。

町長 各方面からの力添えにより地域と

町長 幼稚園は毎月1回以上、小・中学校は学期に1回実施します。予告なしや休憩時など様々な状況に対応できるように生活の場に即した訓練実施に努めている。

密着した教育活動がなされている。地域を共に盛り上げるといった観点で意義深い。

質問 将来を担う、将来この地に帰って来る子を育てることについて、従来は個性を伸ばすことを重視している。今後は地元を担う人材育成が必要では。

町長 地域の様々なことを深く考え今後の生き方を重ね合わせ学んでいくことが

必要だ。総合戦略においても目指す子供像を定め、ふるさと教育やキャリア教育・学力育成の3本柱としている。

質問 学校再編のスケジュールを進めるにあたって、統廃合の各地域や施設利用など、十分議論し将来を検証したうえで

進めるべきでは。

町長 学校がなくなつたらという影響は地域にとつて非常に大きなものがある。廃校施設の再利用や地域住民の意向は尊重しながら町組織全体で取り組み、早期にかつ継続的に考え実行することが必要だ。



布勢小学校田植え体験



内田 勇 議員

質問

有機農業で奥出雲を元気に

町長 有機農業者の育成で農産物のブランド化を目指したい

【表1】全耕地面積に対する有機農業の取り組み面積と面積割合(2017年)

国名	取り組み面積	面積割合
イタリア	190.9万 ^{ha}	15.4%
スペイン	208.2万 ^{ha}	8.9%
ドイツ	137.3万 ^{ha}	8.2%
フランス	174.4万 ^{ha}	6.3%
米国	203.1万 ^{ha}	0.6%
中国	302.3万 ^{ha}	0.6%
日本	1.0万 ^{ha}	0.2%

※農林水産省の資料を基に作成。日本は有機JASを取得している面積のみ計上

【表2】有機栽培などを実施している理由(複数回答可)

1位	消費者の信頼感を高めたい(66.4%)
2位	より良い農産物を提供したい(60.0%)
3位	地域の環境や地球環境を良くしたい(35.6%)
4位	需要が多い(29.1%)
4位	農業・肥料などのコスト低減(29.1%)

※農林水産省の資料を基に作成

質問 有機農産物の需要が世界で高まっている。東京オリンピックも開催され、多くの訪日外国人観光客も予想される。有機農業で奥出雲の農産物のブランド化を。

町長 有機農産物として販売するには、有機JASマークというJAS規格の認定が必要である。有機農業に進むための支援として、国

の環境保全型農業直接支払い交付金に取組んでいる。将来有機農業に取り組む農業者の育成につなげ、農産物のブランド化を目指したい。

質問 有機JASマーク認証の取得支援を。
町長 国の有機JAS認証取得の支援事業と県の(みんなのでつなげる有機の郷事

業)を活用し支援したい。
質問 有機農産物の生産拡大には、学校給食で児童生徒に安心安全な農産物を提供し、地産地消につなげることだ。

町長 地元生産者と給食関係者との連絡会を開催し、安定的な納入体制の構築に向け協議をしている。

質問 温室効果ガスの排出削減に自治体が独自に目標を定め取り組む対策は。

町長 奥出雲町地球温暖化対策実行計画に定めた、町有の対象施設からの温室効果ガス排出40%削減の目標に向け、積極的に進めていきたい。

質問 地球温暖化を抑制する地方創生SDGsの推進の取り組みは。

町長 定住対策や地域産業の活性化、防災・減災対策などを進め、災害に強い強靱な社会をつくることとSDGsの達成を可能にしていくと考える。

※SDGs・持続可能な開発目標

林業の成長産業化を

質問 山の集約化と不在地主の現状は。

町長 農林土木課長 民有林面積の66%が森林経営計画を策定済みである。

質問 森林資源の見える化の促進のため、一人で計測できる地上用三次元レーザーの導入は。

町長 新技術の導入など、積極的に森林資源の見える化、スマート林業の推進に取り組んでいく。



大垣 照子 議員

質問 レッドゾーン内の仁多中学校 どうするのか

町長 対策工事の着手に向け 県と早期に協議を進める

質問 宮城県大崎市と栗原市の学校再編について視察し、本町との違いが鮮明になった。両市とも不安の解消・安全確保を最優先し、賛否両論等にも十分な下準備が行われ、トップダウンではなく、丁寧な取り組みと説明がなされていた。

三成小学校改築事業凍結により、来年月より各地区へ説明というがどうなっているのか。

町長 9月議会での説明とおり、位置及び再編計画の一部修正の検討を年度内を目途に行う。

質問 凍結で設計費が無駄になり、町民からは諦めの声が。予算可決後に学校再編の説明があったの

はなぜか。

教育長 三成小学校の耐震化は急務で学校再編も待てなかった。次は再編と改築をセットで提案したい。

質問 そんなに急がなくてもいいのでは。同じ轍を踏まないた

めに時間をかけること。布勢小学校の耐震化は、どう考えているのか。

町長 危険校舎というだけで学校自体をなくす考えはない。再編は子どもたちにとってどうあるべきかの議論が重要だ。

再質問 ならば、布勢小学校も建て替えるということか。

町長 三成小学校の次に布勢小学校の改築は、一切触れていない。

質問 通学手段や学童保育等の不安を除く町の考えを固めた上で、再編・改築を検討するということではないか。

町長 しっかり検討する。

質問 教育長は、再々「日本の教育の町をつくる」と答弁しているが、本町の教育理念・目標・方針が見えない。教育の根幹としてこれらを制定すべきでは。



仁多中学校敷地の一部はレッドゾーンに

教育長 町の総合計画の趣旨を踏まえ定めているが、周知できていない。今後総合計画や戦略の見直しを踏まえ、教育理念・指針の改定を指示し周知を図りたい。

質問 レッドゾーン指定の中に、仁多中学校の敷地が入っている。これをどう考えているか。

町長 レッドゾーンでも、今、子どもたちが学んでおり、早期に対策工事の着手に向け県と協議を進めたい。

その他の質問

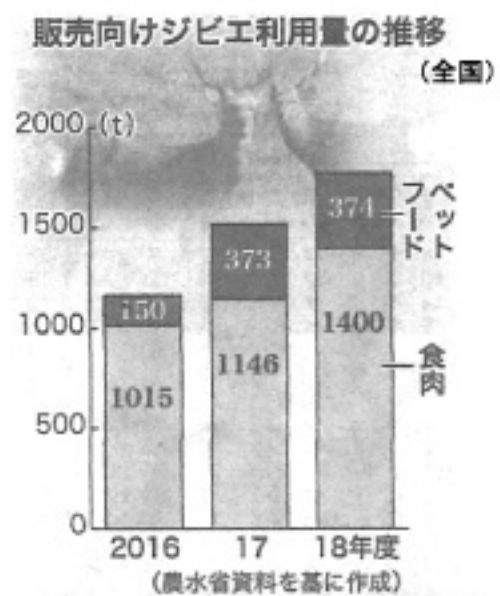
若者定住・人口減少対策について。



土屋 武雄 議員

質問 ジビエの普及と施設整備を

町長 整備・管理・運営を猟友会と調整する



質問 イノシシ等の肉の処理や調理のできる人材の育成をし、ジビエの普及によって有害鳥獣駆除の活力を出すべきだ。ジビエカー、解体処理施設整備の方策はないか。

町長 野生鳥獣処理は安全性の確保が必要で、肉の安定供給、販路の確保などが課題だ。現在衛生に関する指針として、捕獲

運搬、食肉処理、加工、調理及び販売、消費の五つの段階における考え方が示されている。

質問 本年の捕獲頭数を聞いたところかなり増えている。従来は出なかった田ん

ぼにイノシシが出て被害を受けたとの話を多く聞いた。これらの理由は何か。

町長 近年農業振興課長の温暖化により冬季の積雪量が減少したことで、イノシシやシカの子の死亡率が低下したことや、かつてはあった森林の利用減少により、人間の生活区域に有害鳥獣が入り込み捕獲頭数が増加している。



真剣な表情で「命」に向き合う

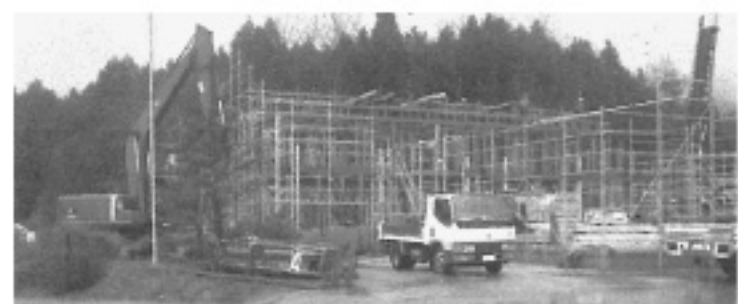
地域包括ケアシステム構築の取り組みは

質問 介護予防対策の取り組みは。

町長 元気な高齢者が要介護状態になる原因として、脳卒中などの脳血管疾患のほか高齢衰弱、骨関節系疾患による不活発な生活から全身の心身機能の低下によるものが多い。

質問 亀高の介護事業所の施設整備の状況は。

町長 元気で主体的に高年齢者が主体性を持って定期的に集まり、仲間と楽しむことによりひきこもり対策や予防につながる取り組みの推進、奥出雲いきいき体操や運動教室などの普及に取り組むたい。



介護事業所の工事状況 (亀高地区)

町長 玉峰山荘手前の旧寿山荘跡地で、有限会社ライフスタイル東光が事業者として認知症グループホームの建設工事が現在進んでおり、年度末までには完了し、4月から開所される予定だ。

質問 岩屋寺仁王像を生誕地の 本町へ戻そう

町長 オランダで保存・活用を願う



糸原 寿之 議員



生誕地奥出雲へ戻そう
オランダで眠る岩屋寺山門仁王像

質問 岩屋寺は729年、行基上人が建立し、出雲市の鰐淵寺、安来市の清水寺と並び、伝統と歴史のある古刹として有名である。本町においてオランダ人芸術家がタイトルで、山門仁王像を再現してから、岩屋寺復興保存、仁王像連れ戻しに対する町民

の関心が一気に高まった。岩屋寺を復興保存し、本町の地方創生のベースにまた、観光の核にすることの意義について、町長の所感は。

町長 岩屋寺の切開が昭和7年に国の天然記念物に指定され

ている。建物は文化財の指定を受けていない。岩屋寺は個人所有の宗教施設で、町そのものが復興保存の主体となることはできないものと考ええる。

質問 町が平成25年、岩屋寺周辺整備事業として購入した土地

の場所、購入価格取得面積、目的は。

町長 取得面積は19万9,000㎡、価格は660万円、目的は岩屋寺周辺にある地蔵や墓標など歴史的石造物などの保存措置を講ずるためだ。教育魅力課長 場所は本堂を取り囲む周辺の山林である。

質問 運慶・快慶の作と言いつた伝えられる山門にあった仁王像、この度、オランダアムステルダム国立美術館にあることが判明し、公表された。国宝級と言われるこの仁王像、所在が公表された以上、奥出雲としては町の伝統歴史を守るために生まれ故郷、生誕の地へ帰っていただくことを考え、例えば

観光協会等が主体となり文化財として連れ戻し、さもなくば買戻しをすべきである。そして文化財に指定しては。

町長 アムステルダム美術館が手放す可能性は低いと考える。今後はオランダで大事に保存活用されることを願う。

意見 戻すことはしないということだが、買戻しの財源や連れ戻しの国家的な背景として、文化財保護法による国宝重要文化財等買上げ事業がある。国100%事業費を持つもので、こうしたことも研究して、そうすれば何かの道も開けるので取り組むべきだ。



村尾 明利 議員

質問 地域維持特別措置法に対する見解は

町長 本町にとって重要な役割を担うものと評価している



地域維持特別措置法を伝える報道記事

質問 人口減少が顕著な中山間地域での地域社会維持に向けた特別措置法が国会で成立した。人口の極集中の抑止、都市から地方への移動の受け皿として、人口流失、過疎化に悩む地方自治体にと

って切り札・光明になるか注目される。仕組み・内容について。

し、この組合で採用した職員を各事業所に対して人材派遣するもの。人件費の3分の1を公費負担することによって協同組合の安定運営を図り、職員は将来にわたって生活を維持する所得が得られ、定住にもつなげようとするものだ。

質問 町としての対応・期待度は。

業務にIT・ICTの活用を

質問 自治体業務にIT・ICTの活用が盛んに取り込まれており、スマートフォン、タブレットなどの活用により業務の効率化とコスト削減がなされている。音声認識機能による議事録作成も進捗が著しい。業務のIT・ICT化に対する現状認識は。

質問 具体的にタブレットや音声認識システムを導入し、業務の効率化やコスト削減に取り組む考えは。

町長 安定した雇用の機会をもたらし、長期的に住みよい地方への人口回帰を推し進める制度で、本町のような人口減少に悩む中山間地域にとって重要な役割を担うものと評価している。

再質問 本町の現状についての認識は。

町長 各事業の電算化によって業務の効

※IT・コンピュータやデータ通信に関する情報技術
※ICT:通信技術を活用したコミュニケーション

質問 公用封筒に民間企業等の 広告登載を



内田 精彦 議員

町長 窓口で来庁者のお持ち帰り封筒に 使用する

質問 近年他市町村で公用封筒に民間企業広告が登載されているが。

町長 県内では8市が使用し、市で使用される広告入りの封筒は、民間代理店業者から広告を集めて自治体用の封筒を作成し無償で提供をされるもので、自治体としては封筒の制作経費が抑えられるメリットがある。掲載については十分に注意し審査が必要など、掲載基準の厳格化が求められる。

奥出雲町では1月から町民課窓口で来庁者用のお持ち帰り封筒に、広告入りの封筒を使用する。これに対する皆様の声や反応等を踏まえて、共通で使用する発送用封筒への広告の掲載を今後考える。

職員配置看板設置について

質問 庁舎玄関に職員のみわかりやすい配置看板があれば来庁者の方たちに非常に喜ばれると思うが、設置の考えは。

町長 職員の配置は、毎年4月と5月に町広報に掲載している。役場庁舎の各課のカウンターの座席表を設置している。職員配置図の設置については現時点で実施する考えはない。

質問 飯南町においては、各課の配置図そして同時に職員の顔写真付の配置図が設置してあり、これにより一目で職員の名前、顔写真、配属先がわかり、来庁者には大変喜ばれていると聞き及んでいる。



飯南町の写真付配置図

名札着用と配置図設置により、職員も緊張感の中での責任を持って執務に対応できると考えるが。

町長 これは個人情報に当たる重大な問題でもあるので、十分な議論をし本当に多くの町民の皆様方から声があれば設置する。

広報誌奥出雲の 充実について

質問 毎月の広報奥出雲を手にとりて感じるの、軽い、薄いと感ずる。これでは楽しみにして読んでみようという気が薄れていく。どのよう感じているのか。また今後多くする考えは。

町長 他町村と比較し若干少ないページ数ではあるが、必要な事はお知らせできていると考えている。

その他の質問

広報誌内への広告等登載、封筒に奥出雲町のPRの記載について。



内田 雅人 議員

質問 町の未来を変える 最先端技術の活用を

町長 まず税務での活用を目指す

町長 AIやRPAの導入は業務効率化が期待でき、情報収集しているところだ。来年度に税務での導入を検討している。

質問 町の未来を変えていくAIを活用した効率化が必要だ。自動化、遠隔化、リアルタイム化がこの数年で一気に進む。自治体こそ最先端技術を活用して、単純な事務処理に時間を取られない体制づくりを目指すべき。職員の労力や時間をもっと質の高い業務へ転換でき、それが住民サービス向上に必ずつながる。

島根県庁でもRPAが導入されたが連携して業務の効率化を。

※AI：人工知能
※RPA：業務自動化

町長 AIやRPAの導入は業務効率化が期待でき、情報収集しているところだ。来年度に税務での導入を検討している。

質問 新たな総合計画で描く未来。自然・伝統文化が息づきながらも、自動化によって人手不足の解消や移動手段が確保される。遠隔化、リアルタイム化によって最新の医療や教育を受けられることができる。そんな便利で住みよいまちを描いて欲しい。

町長 最先端技術の活用は国の目標値も設定され、労働力不足の解消や生活の利便性向上を図り、人口減少対策となっている。

次期総合計画の策定において最先端技術の活用を十分に検討する。

町長 子育て支援や教育環境の充実を実施してきた。20代30代が希望の持てるまちづくりの予算になるよう指示している。

質問 2庁舎方式をやめて、小さな拠点ベースで庁舎に行かなくても身近で行政サービスが受けられる暮らしやすいまちに。

町長 2庁舎方式の今後の方向性は、行政改革の答申の中でも提言いただいたいている。様々な課題が出てくるが、解決に向けて検証していく。

質問 総合計画に沿ったメリハリのある予算配分が必要だ。町長のカラーが出ているか。

人の集まる亀嵩駅は改築が必要だ

質問 亀嵩駅は多くの観光客が訪れる人気スポットだが、駅舎はヒビが入り、柱も腐った状態で危険だ。趣もない。

木次線存続と奥出雲ファン増のために、ぜひ田舎の駅らしい趣のある駅舎に改築を。

町長 駅舎は昭和9年に建築され、その後町に移管された。改築することなく修繕を重ねている。現時点では改築は考えていないがしっかりと維持管理していく。



駅そばの人気で集客の多い亀嵩駅
築85年が経ち老朽化が著しく危険な状態となっている



田食 道弘 議員

質問 非核平和の町として具体的行動を

町長 さっそくホームページに掲載した看板は調査研究する



国道沿いに立つ雲南市の大看板「平和を」の都市宣言

質問 13年前の「非核平和の町宣言」以降、何ら揭示されていない。まず役場庁舎か国道沿線に大看板を設置し、町のホームページにも掲載するなど、改めて奥出雲町の宣言を町の内外に公告すべきだ。

町長 宣言当時には町広報にて町民の周知を行ったが、その

後特に広報していない。事前通告の指摘を受け、一般質問前の12月2日に町ホームページに宣言文を掲載した。

質問 日本非核自治体協議会に加入すべきだ。雲南市など全

国で340余りの地方自治体が加入し、全国と世界各国に向け非核平和に関するアピールの共同発信や人材育成、平和活動支援に取り組んでいる。

町長 当協議会より毎年加入の案内を受けている。加入する具体的メリットや必要性が低いと判断し、

加盟を見送ってきた。県内の動向を見守りたい。

質問 3年前、国内外の被爆者により始まった「ヒバクシャ国際署名」に賛同し、協力すべきだ。雲南

市ではホームページでこの署名を紹介するなど協力している。

町長 本町では2年前にこの署名に賛同し、私自身が署名している。改めての署名は考えていない。

子どもと学校について
住民ぐるみで協議を開始しよう

質問 学校再編は各地区にとっても、町全体にとっても極めて重大な問題だ。各地区での協議は必要だが、町・教育委員会が町全域、全町民に呼びかけ教育版タウンミーティングに

テーマだ。教育版タウンミーティングはテーマ、開催方法など考慮し検討する。

取り組み、まちを挙げて意見や提案を交換する住民ぐるみの協議開始を提案する。

安心安全な学校・幼児園給食、補聴器購入時の医療費控除などの支援、老健の過重労働解消と今後の施設展開について。

その他の質問

町長 タウンミーティングでも、「教育」は関心が寄せられた

エゴマ栽培で産地形成・ブランド化を進める宮城県色麻(シカマ)町。同時に隣接する1市4町からなる認定3年目の広域的な世界農業遺産の実状を学ぶべく視察研修を行いました。

宮城県 色麻町

色麻町は宮城県北西部に位置し大崎平野から奥羽山脈にかかる人口約7千人弱の町で、東日本大震災時に本町から給水車等を派遣した交流のある町です。平成12年に転作奨励作物として白エゴマの栽培を振興、平成30年度の作付けは26.4haを栽培、さまざまなエゴマ商品を開発。その実状・振興過程を学びました。

えごまブランドへの取組

エゴマはこの地域で昔から冠婚葬祭の場などで使用、食べると「十年長生きする」との伝えから「じゅうねん」とも言われ親しまれています。町が事業主体でエゴマ関連機器を導入、作業の改善を図り農工併進、所得の向上・産業振興など色麻ブランドの産地形成にむけ熱心に取り組んでおられます。

えごまブランド商品



色麻町産業開発公社/25度焼酎 色麻町で無農薬栽培された「エゴマの搾り粕」を20%以上使用、秋田湯沢の秋田県発酵で蒸留

その他えごま羊羹、えごまラーメンなど多くの「えごま」ブランド商品を開発製造販売している。

世界農業遺産大崎耕土 (平成29年認定)

おおさきまがらひ

大崎耕土は1市4町(大崎市、色麻町、他3町)にまたがる広域的な水田地帯を古くからの伝統的管理システムにより持続可能な農業管理の仕組みとして世界農業遺産に認定されたものです。

認定の背景には

- ①東北太平洋側特有の初夏に吹く冷風「やませ」による害
 - ②傾斜の急な山間地での濁水
 - ③河川の豪雨時の氾濫
- など悪条件を知恵と工夫で克服・適応し、豊かな水田農業地帯を伝統的に広域的に形成している点が評価され「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的水管理システム」として認定されています。

委員会の意見

えごま栽培について

広大な平野の一角に位置し、圃場での転作が主流など本町とは環境が大きく異なるが、栽培方法や洗浄・商品開発など具体的な面で現状と比べ学ぶところが多く、今後に生かすべきと感じました。

大崎耕土について

長い歴史の営みの中で生まれた世界農業遺産でスケールの大きさに改めて感嘆しました。新田の開墾には沼地の配水に様々な工夫をされています。本町の「たたら跡」利用とは勝手が違うものの、ともに先人たちの知恵と工夫により造り上げられたもので、今後本町が認定を目指す立場から①広域的な点の伝統的継承③未来へ継承などポイントを研修し意味深いものとなりました。

学校再編は町民への影響も大きく、関心の高いテーマ。以前より再編が進められている他の自治体の状況を把握し、その手法などを取り入れるべく視察研修を行いました。

宮城県 大崎市

大崎市は平成20年から学校再編について検討がなされ、平成26年に2校、平成28年に2校、平成30年に5校の小学校が統合、今後は13の小学校を4校に統合し、うち2校を小中一貫校にする予定で進められています。

学校再編の進め方は？

- 準備期間約3年、専門部署を6人体制で設置
- 意見交換（専門部署と、幼小中のPTA・地域）
- 合同検討委員会（各校区の代表が集まり協議し合意形成）
- 統合準備委員会（学校環境整備の詳細を協議）

通学は？

- 委託によるスクールバス
- 所要時間15分〜35分

放課後児童クラブは？

- 旧小学校区で継続して開設
- 地域運営で指導員5名体制
- 下校時のスクールバスが施設を経由



大崎市役所にて
委員7名と議長が研修しました



宮城県 栗原市

栗原市は合併当初より、児童数の減少による様々な懸念が生じていることに対し、学校教育環境をいかに整えるかを重要な行政課題と位置づけ、学校再編が進められています。小学校31校が来年度からは12校に、中学校11校が8校に、幼稚園22園が8園になる予定です。

学校再編の進め方は？

- 準備期間3〜6年、専門部署を4人体制で設置
- 保護者との意見交換にて方向性の取りまとめ
- 保護者の意向を踏まえての地域説明、意見交換を行い合意
- 再編校の具体的な計画作り・再編対象校で合同授業を実施

通学は？

- 委託によるスクールバス75台
- 所要時間15分〜40分

放課後児童クラブは？

- 統合後の小学校敷地内外に開設
- 公設民営で支援員6〜7名体制

委員会の意見

両市とも保護者を中心に、話し合いが丁寧に進められています。学習環境の充実に加え通学や放課後のことも含めて、早い段階で児童・保護者の負担軽減と安全を具体的に示しています。そこがいちばんのポイントと感じました。

この研修に学び、学校再編の進め方について、特に取り組むべき点を7点挙げ、町に提言しました。



中学校1校と小学校5校が統合された金成小中学校
共有部分も少なく素晴らしい設備



議会活性化に向けての提言

令和元年12月19日12月定例会閉会后、議会活性化特別委員会の景山委員長が勝田町長に対し、早急に取り組むべき事項について提言書を提出しました。

議会活性化特別委員会では「町民の声を聴く会」でいただいた意見・要望を議会だより11月号でいち早くお知らせしましたが、今後についてはこれらの意見・要望を踏まえ、適宜適切な対応を図りながら議会の活性化に向け、行政・議会共に鋭意取り組んでいきたいと考えています。

しかし、多くの課題を一挙に解決することは極めて困難であり、次のとおり順を追って取り組んでいくこととしました。

一、議会活性化特別委員会は、設置されてからちょうど1年となることから、令和元年12月定例会最終日となる12月19日の本会議において、これまでの経過を含めた中間報告を行い、全議員共通認識として一致して取り組んでいく。

二、結論がでるまでに期間を要するもの、予算措置を伴うものについては、早急に取り組むべき事項として町長に対し提言を行う。

三、今後においては、町民の皆様からいただいた意見・要望を真摯に受け止めながら、議会活性化に鋭意取り組み、最終的な成果については、会議規則第77条の規定による委員会報告として報告する。

○議員報酬の引き上げ

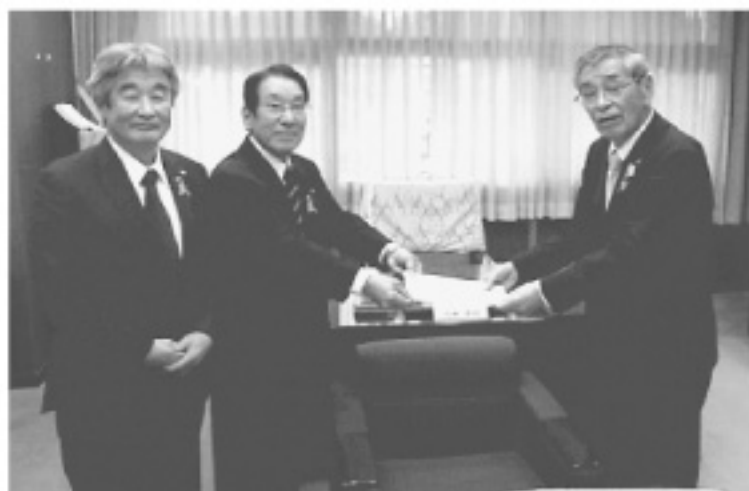
今、若者を中心に議会離れが進み、これが結果として手不足につながっている。任期満了による改選時期が令和3年4月に迫る中、若者や女性など活発な立候補を期待すべく、令和2年後半には必ずや結論を得たいことから、町長には早急に奥出雲町特別職報酬等審議会への諮問を行っていただきたい。

○タブレット端末の導入

今日の情報化社会を迎え、ICT活用によるコストと労力の削減に加え、利便性の向上を推進するためにも、紙ベースからタブレット端末への切り替えを行い議会の活性化を図るため、令和2年度当初予算への計上を行っていただきたい。

○音声認識システムの導入

町民の声を聴く会において、町民の方から町議会会議録検索システムは公開が非常に遅いとの指摘をいただいた。現在、本会議の議事録作成は業者へ外部委託し、常任委員会等は事務局及び併任書記で対応しているが、それでも書き起こしにある程度の日数を要し一般公開が遅くなっていることから、会議、打合せ、講演などにおいて音声と同時に文字起こしができる音声認識システムの導入について、令和2年度当初予算への計上を行っていただきたい。



勝田町長に提言書を手渡す景山委員長

早急に取り組むべき3項目

追跡! ありゃあどげなった?

日本農業遺産認定! その後は

「ただら製鉄に由来する奥出雲地域循環型農業」が日本農業遺産に認定され約一年経ちました。

魅力ある奥出雲の農産品や観光資源を最大限に活かし、農業の振興と観光客誘致による経済の活性化に資そうとするものです。

現在具体化した動きは、滞在型観光としての農泊を推進する農泊セミナーの開催と、横田高校生が「奥出雲学」の一環で、日本農業遺産認定を広くPRしていく為に、横田だんだん市場で農産品にシールを貼る試験的な取り組みです。

令和2年度で世界農業遺産認定を目指しています。これらの認定を活かし、農産物のブランド化につなげましょう。



だんだん市場で日本農業遺産認定のシールを貼る横田高校生

これまでの事業費：平成28年度 98万円
平成29年度 48万円
平成30年度 120万円
令和元年度 300万円

今後の予定

令和2年1月～6月

世界農業遺産にかかる承認申請書の提出
現地調査・プレゼンテーション

令和3年2月

世界農業遺産認定申請にかかる承認 結果通知

ありゃあどげなった?



横田高校生考案のシール

第3セクター決算報告

決算期 平成30年10月から令和元年9月

奥出雲交通(株)【第24期】

売上高 (運送収入) 8,762万円
(前年比 100.1%)
純利益 772万円

事業の概要

乗客数全体において減少傾向が続いている。町民に信頼され、愛される路線バスの運行を心掛ける。

奥出雲酒造(株)【第94期】

売上高 1億8,482万円
(前年比 96.49%)
純利益 108万円

事業の概要

輸出が顕著な実績拡大があった。今後も、販売口スを減らすよう心掛けて営業を行う。

奥出雲電力(株)【第4期】

売上高 1億80万円
(前年比 85.93%)
純利益 701万円

※町への寄付金400万円

事業の概要

地域の小水力など地産の電源を利用し、エネルギーの地産地消を推進する。先期と比較して、営業利益率・経常利益率ともに増加した。

※公共施設への電力供給により、町は電気代を1,501万円(中電比)削減しました。

われら

おいずもん

よここう食堂



現在、横田高校には町外からたくさんの方が入学し、地元の生徒たちと貴重な3年間を過ごしています。毎月1回、寮生39人によびかけ、町民との楽しい食事が開かれています。

もともと5年前から有志で始められた企画でしたが、本年度からは横田公民館事業、横田地区振興会事業として再出発されました。

12月14日夕方の食事会には女子7名と男子2名、大人7名が参加されました。東京都や茨城県、神奈川県、愛知県、和歌山県、兵庫県、安来市、雲南市と参加した寮生の出身地は多彩でした。

今回のメニューは3年男子が選択したメニューで、ピザ、ラザニア等をみんなで楽しく料理し、夕方5時半を過ぎると香ばしいおいが会場に立ち込み、6時過ぎには楽しい食事が始まりました。

しばし、ご馳走を食べながら話が弾んでいました。「出身地のことや、今どきの高校生活が聞ける楽しい企画です。遠慮なく参加してください。」とのことです。

(問い合わせは横田公民館TEL52-0949まで)

議会を傍聴しませんか

○次回の定例会は

3月です。

○詳しくは議会事務局へお尋ねください。

TEL (0854) 52-2678

議会からのお願い

○議会や議会だよりへのご意見、ご感想、また「まちの元気グループ」へのご応募もお待ちしております。議会事務局までお気軽にお寄せください。

《あて先》

〒699-1803

奥出雲町横田1007

奥出雲町議会事務局

FAX (0854) 52-2342

E-MAIL: gikai@town.okuzumoshimane.jp

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年議会だよりをこ愛読いただき、厚くお礼申し上げます。

今年令和の時代に入つて2年目、令和は人口減少に立ち向かうかが課題の時代と言われています。昨年日本の自然減は51万人のほりました。大変な数字です。

日々迫りくる人口減少に立ち向かう奥出雲町議会、今年も町政を一層身近に感じて頂けるよう、わかり易い紙面づくりに努めてまいります。

本年もよろしくお願ひ致します。(系原)

議会広報特別委員会

- 委員長 土屋 武雄
- 副委員長 系原 壽之
- 委員 石原 武志
- 委員 内田 雅人
- 委員 景山 利則
- 委員 田食 道弘